

クロマツ探検隊 I

私たち朝日庄内森林生態系保全センターは、「みどりの保育園推進事業」の一環として、西荒瀬保育園（酒田市）の園児たちと一年を通して、さまざまな森林体験を行っています。今回はその第二弾として、年長組の園児たちと保育園に隣接するクロマツ林（国有林）を探検し、野に咲く花やサギの営巣コロニーなどを観察しました。



探検に出発、エイエイ、オー！

途中、森の中に咲く野の花を観察しながら歩きました。ツルニチニチソウ、カキドオシ、アマドコロ、ウラシマソウなどを見ることができました。特にウラシマソウの変わった形に、園児たちは興味津々だったようです。



森の中に咲く野の花を観察



森の危険な植物を説明

森の中の植物はきれいなものばかりではありません。なかには危険なものもあります。今回は、触るとかぶれて非常なかゆみを伴うこともあるツタウルシを森の中で発見。園児たちに見かけても決して触ったりしないよう注意を呼びかけました。

探検隊はさらに進み、クロマツの高木につくられたサギの営巣コロニーを観察しました。双眼鏡や望遠鏡の先の、サギの巣やその中で育つヒナの姿に歓声があがりました。

一所懸命に命をつなごうとするサギの親子の姿に、命の大切さを感じてもらえればと思います。



サギの営巣コロニーを観察



クロマツ林の役割について説明

探検も終盤、クロマツ林の中の畑で、クロマツ林の役割について園児たちに説明しました。

海から吹く強い風と、それにより飛ばされてくる砂からクロマツの森が家や畑を守ってくれていることを写真を使って説明しました。

探検の終わりに、クロマツ林に咲く野の花を摘み、それを使って、園児たちは思い思いの万華鏡をつくりました。

そのいくつかをのぞかせてもらうと、園児たちのつくった小さな筒の中の世界に、心地よい探検の余韻をもらった思いがしました。



野花で万華鏡をつくる園児たち